



● 就活中の大学生、高校生等に向けてのメッセージをお願いします。

介護は人と接する仕事なので、大変なこと、慣れないこと、相手との価値観の違いなどで悩んだりすることがたくさんあります。ですが、一人ではなくチームで仕事をするので、困ったことがあれば、上司や先輩職員が必ず助けてくれます。

ぜひ、一緒に働けるのを楽しみにしています！

2022年（令和4年）6月採用・Mさん 配属先：特別養護老人ホームはなみずき・介護職員

●介護福祉士を目指したきっかけは？

フィリピンでは日本のような介護施設はほとんど存在せず、家族が年老いた祖父母の面倒を見ることが当たり前になっています。祖父、祖母に育てられた私は、いつか恩返しができるように、介護の基本知識と介護技術を学びたくて、介護職を目指しました。

●比内ふくし会に入って良かったことは何ですか？

給与体系や福利厚生などがきちんと整備されていると思います。希望休や年次有給休暇、子どもの看護等休暇などが取得しやすい環境で、ワーク・ライフ・バランスができて良かったと思います。

●職場の雰囲気はどうですか？

「お互い様」の精神で助け合える、明るい雰囲気だと思います。わからないことはすぐに聞けるし、先輩職員から介護知識や技術についてのアドバイスをもらえて、介護のスキルアップが図れます。

●将来の夢や目標をお聞かせください。

日本語能力試験1級（N1）を取ること、介護支援専門員（ケアマネージャー）の資格を取りたいです。



● 就活中の大学生、高校生等に向けてのメッセージをお願いします。

子育て中のスタッフも多く在籍しており、仕事と家庭を両立しながら安心して働ける職場です。また、私たちの施設ではスタッフ同士のコミュニケーションを大切にし、アットホームな雰囲気づくりを心掛けています。

入居者様一人ひとりに寄り添ったケアを私たちと一緒に目指しましょう。

2003年（平成15年）4月採用・Mさん
配属先：特別養護老人ホームやまぼうし・主任（介護職員）

● 介護職を目指したきっかけを教えてください。

中学生の時、祖母が寝たきりになり、施設を利用するようになりました。お盆やお正月には施設から自宅へ帰ってきた際、母や姉が祖母のオムツ交換や食事の手伝いをしている姿をみて、何もできない自分が情けなく思いました。私も将来、祖母のような方の役に立てるような人になりたいと強く思い、介護職を目指しました。

● 主任職の業務内容について教えてください。

通常の介護業務に加え、他職種（看護師、管理栄養士、施設ケアマネ等）と連携し、入居者様のニーズや状態に応じたケアの検討を行います。それをチームでケアを行うためスタッフと共有し、ときには指導することもあります。新人スタッフの指導担当者として教育したり、スタッフの意見や悩みなどを聞き、上司に伝える役割もあります。そのほか、スタッフの勤務表作成やシフト調整もします。

● 今後の目標をお聞かせください。

入居者様一人ひとりに寄り添った個別ケアを実現するため、課題を見つけ改善に努めていきたいです。また、現場の声を正しく伝えるパイプ役となり、業務改善や働きやすい職場環境づくりにつなげていきたいです。



- 就活中の大学生、高校生等に向けてのメッセージをお願いします。

心に寄り添う介護がモットーです！
「自分がいるだけで安心してもらえるような存在になりたい」と、先輩に学びながら、今、奔走中です。
やりがいは、利用者の笑顔。
一緒にがんばりましょう！！

(写真は北鹿新聞社提供)

2025年（令和7年）4月採用・Rさん 配属先：特別養護老人ホームやまぼうし・介護職員

●介護福祉士を目指したきっかけは？

小さかった頃、毎週のように祖父母の家に姉と遊びに行っていました。その頃、祖母が足や膝に痛みがあるという話を聞くと、少しでも痛みが和らぐよう、よくマッサージをしていましたが、自分にできることに限界を感じ、「自分にもっとできることはないか」とリハビリや介護の道を考えるようになりました。

また、母が介護福祉士として市内の福祉施設で働いていた影響もあり、介護の仕事は身近な存在でした。高校3年時に、福祉施設で働き地元貢献したいと思うようになり、まずは介護福祉士の資格取得を目指すため、県内の短大に進学することを決めました。

●比内ふくし会を選んだ理由は？

豊かな自然と穏やかな時間の中で働きたいと、地元での就職を見据え、短大2年生の時、特別養護老人ホームやまぼうしの施設を見学させていただきました。訪問した際、利用者に対しとても親身になって接している職員の皆さんの姿を見て感銘を受けました。また法人の理念にも共感したため、地元大館市への地域貢献の意味も込め、比内ふくし会を就職先として選びました。

●現在の仕事の内容を教えてください。

業務内容は、食事介助や入浴介助が中心で、今は先輩職員に教えてもらいながら、少しずつ仕事の幅を広げていっているところです。先輩の皆さんはとても仕事が早く、その中で利用者さん一人ひとりの日常生活を知り尽くし尊重した介護を行っており、とても尊敬しています。自分も先輩のようになりたいと、仕事に励んでいます。私の担当ユニットは、介護度の重い方が多くいて、コミュニケーションをとるのも難しい方がほとんどですが、私の食事介助や入浴介助で、『ありがとう』の笑顔で応えてくれた時は大変嬉しく思い、もっと笑顔を増やせるよう仕事に臨んでいます。



● 就活中の大学生、高校生等に向けてのメッセージをお願いします。

介護職は、かけがえのないやりがいと喜びがあります。利用者様をお互いに支え合いながら一人ひとりの笑顔や感謝の気持ちを大切にし、共に働きましょう！

(写真は北鹿新聞社提供)

2021年（平成31年）4月採用・Kさん 配属先：特別養護老人ホームはなみずき・介護職員

● 前職から介護職として働くこととなった経緯について教えてください。

高齢化が進む日本では、今後もニーズが高まる仕事であり、人や社会の役に立ちたいと思い、介護の道に飛び込みました。介護業界は、資格なし・未経験からでも介護職として働くことが可能で、子育てが落ち着いた40代からでも挑戦できると思い、この仕事に就きました。

● 比内ふくし会を選んだ理由は？

母も比内ふくし会に勤めており、管理者の方から母を通して初任者研修の資格取得支援の話を頂き、民間の介護事業所に勤めていましたが、資格支援制度が充実しているところで安心して働きたいと思い、選びました。

● 資格取得支援について教えてください。

比内ふくし会では、勤務しながら初任者研修や実務者研修を受講でき、自分自身のスキルアップや介護のプロになるため、国家資格である介護福祉士も取得することができました。シフトも研修に合わせて組んでもらい、受講料や受験料、資格登録費用などもかからず、家庭と資格取得と仕事を両立することができました。

● 現在の仕事のやりがい、楽しさはどんなところですか？

利用者様との会話がとても楽しく、利用者様の笑顔と「ありがとう」、「助かる」などの言葉をいただく瞬間が嬉しく、やりがいを感じます。